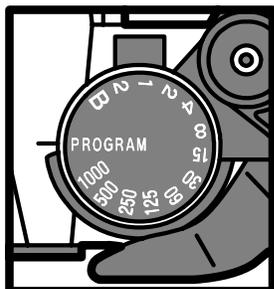
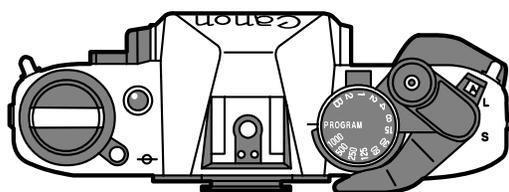
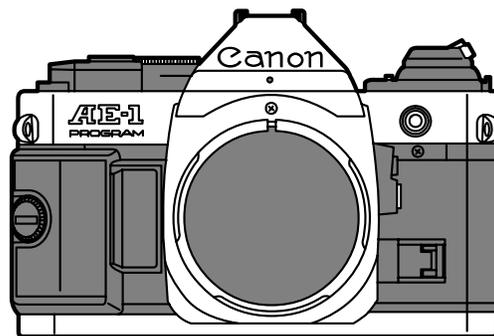


# Canon AE-1 PROGRAM

スペック	
シャッター	1/1000～2秒・B（電子シャッター）
X接点	1/60秒
測光方式	中央部重点測光
撮影モード	シャッタースピード優先 / プログラム / マニュアル
サイズ	141.0×88.0×48.0mm
重量	565g
発売年	1981年
新品価格	- 絶版 -
中古相場	20,000前後
備考	モータードライブ、ワインダー装着可。 ファインダー視野率94% ファインダー倍率0.83倍



このAE-1プログラムは、建前上AE-1の後継機という位置付けであるが、どう見てもA-1のスペックダウン機である。その証拠に、モータードライブはA-1と共用できる。また、デザイン的にもA-1に近い。今回A-1をノミネートしなかったのは、A-1の操作系は比較的ゴチャゴチャしているからである（それでも最近のカメラと比べれば簡潔だが）。

AE-1プログラムは、ユーザーがフォーカシングスクリーンを交換できる。しかし今となっては、スクリーンは新品では手に入らず、中古カメラ店でもあまり見かけない。標準で装着されているフォーカシングスクリーンは、中央のスプリットプリズム部が特殊加工（プリズムに2段階の角度が付いている）されており、F5.6よりも暗いレンズでも、黒くカゲることがない。ファインダー内情報は、設定したシャッタースピードに対応する絞り値の指示がLED（発光ダイオード）によって表示される。FDレンズの構造上、絞り環を動かしても露出表示に変化は無い。

基本的にAシリーズは、ダイヤルを人差し指1本で回すことを前提に作られている。しかし、AE-1ではダイヤルが固く、ギザギザが人差し指に痛い。A-1もダイヤル露出部が少なく、操作がしやすいとは言えない。ところがこのAE-1プログラムは、ダイヤルの回転が実にスムーズであり、クリック感もなかなかのものだ。一応、「PROGRAM」の位置ではクリックが重くなっており、誤って動かないようになっている。

撮影モードも、「シャッタースピード優先」と「プログラム」、そして「マニュアル」と3つあるが、スマートにまとめられており、戸惑うことはない。

使用電池は、6Vの4LR44アルカリマンガン電池であり、これはAシリーズ共通である。バッテリーチェック自体が電力を消費するので、あまり長くバッテリーチェックボタンを押し続けられないようにしたほうがいい。

AE-1と同様によく売れたそうだが、そろそろ中古カメラ店でも程度の良い物は少なくなってきた。大抵のものは油切れのために、シャッターを切ると「キシュン！」と鳴き現象が起こる。これはオーバーホールに出せば何とかなるはずだが、費用はもちろん掛かる。